

スズキ、インド・カルコダ工場で生産開始



スズキ株式会社のインド四輪子会社マルチ・スズキ・インディア社は、2025 年 2 月 25 日よりカルコダ工場で生産を開始しました。

カルコダ工場では当初コンパクト SUV「ブレッツァ」を生産し、初年度の生産能力は 25 万台を予定しています。現在、スズキはインドで、グルガオン工場、マネサール工場、およびグジャラート工場の 3 つの生産拠点があり、生産能力は 235 万台にのぼります。今回のカルコダ工場の生産開始により、インド国内の生産能力は 260 万台となります。

2024 年暦年で、インドはスズキの生産国において、初めて 1 年間の生産台数が 200 万台を超えました。また、インドからの輸出台数においても、2024 年暦年で過去最高の 326,236 台（前年比 121%）に増加し、累計輸出台数は 300 万台を超えました。

スズキは、インド自動車市場の国内需要の伸びに対応するとともに、グローバルな輸出拠点として拡大させるためインド国内の生産能力増強を進めています。グジャラート州ではグジャラート工場に加え、新たな工場の建設を計画しており、インドで年間 400 万台の生産体制を目指してまいります。

カルコダ工場概要

所在地	ハリヤナ州カルコダ
年間生産能力	25 万台（初年度）
生産車種	ブレッツァ

以上